

令和6年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	昭和をテーマとしたイベントで特色ある飯山の魅力づくり事業
事業主体 (連絡先)	ノスタルジアいいやまプロジェクト (090-4462-7215)
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大 オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,221,097 円 (うち支援金: 1,776,000 円)

事業内容

- ・昭和をテーマにしたイベントを飯山市文化交流館なちゅら等を会場として開催する。
- ・昭和のスターやお笑い芸人を招致して、市内外及び県外の方にも飯山を訪れてもらい、飯山の魅力を知ってもらう。
- ・のど自慢大会やフリーマーケットなど、飯山市民にもイベントに主体的に参加してもらい、地元を盛り上げる力になってもらい、また地元の魅力を再発見してもらう。
- ・市県外や地元の若者に飯山の魅力を知ってもらい飯山への移住や定住を促進する。



【令和6年8月31日昭和のうたのど自慢】

【目標・ねらい】

- ①市外、県外の人に飯山の魅力を知ってもらう。
- ②飯山市民が飯山の魅力を再発見する。
- ③飯山への移住・定住を促進する。

※自己評価 【B】

【理由】

1年目の取り組みとしては、なちゅらで開催される「いいやま昭和フェス」という認知はかなり広がったと考えられるため。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・全国的に注目を集める歌手や芸人を招致したことで、市外、県外から多くの人が飯山を知る機会となった。
- ・昭和のうたのど自慢では15歳から91歳の市民が参加し、イベントを楽しみ、活気ある飯山作りに向けた機運の高まりを感じられた。
- ・県外者などの飯山への移住の促進についての機運の高まりにはつながらなかった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・「いいやま昭和フェス」の認知度をさらに広め定着させるために、より魅力的なイベント企画を進め、多くの来場者を得て、飯山を知ってもらう機会としていく。
- ・また、イベント参加を契機として、飯山の自然や田舎暮らしの魅力を感じてもらえるような関わりを参加者に提案できるような内容を盛り込んでいきたい。
- ・飯山高校の生徒をはじめ、飯山の若者がプロジェクトに参画できるようなプログラムを盛り込んでいきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある